

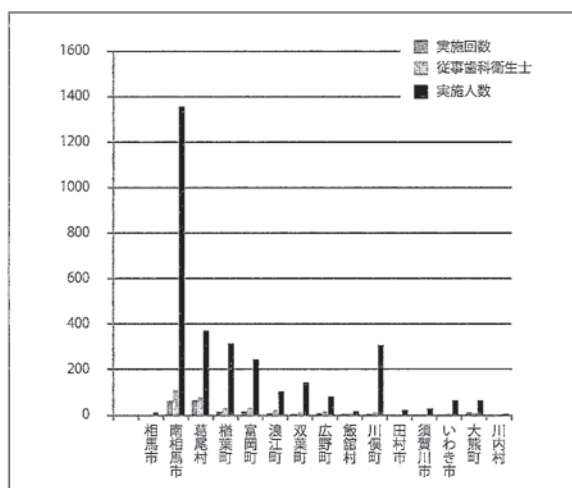
平成27年度 被災者支援活動報告

福島県受託事業「被災者口腔ケア支援事業」平成27年5月～平成28年3月

平成27年度福島県受託事業「被災者口腔ケア支援事業」は、延べ361名の会員が3,110名の被災者支援活動を行い、仮設・借り上げ住宅の個別訪問、仮設集会所等での健康相談、健康教育、障害者や高齢者施設等での口腔ケア、摂食嚥下支援等を行った。

1.被災市町村等への市町村別支援状況

市町村名	実施回数	従事歯科衛生士 延べ数	実施人数
相馬市	2	3	12
南相馬市	61	113	1,357
葛尾村	66	79	369
楡葉町	17	33	316
富岡町	17	34	243
浪江町	10	23	106
双葉町	6	12	145
広野町	8	17	82
飯館村	5	8	16
川俣町	8	16	308
田村市	2	2	25
須賀川市	1	2	28
いわき市	1	6	32
大熊町	12	12	66
川内村	1	1	5
合計	217	361	3,110

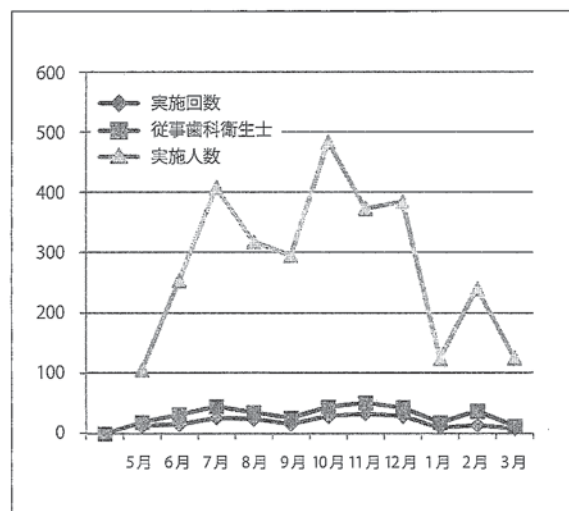


※楡葉町への支援の中に広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、葛尾村、浪江町の共同実施で行った2歳児健康相談会の実績が含まれている。

実施回数、従事歯科衛生士数は、南相馬市、葛尾村が多く、実施人数は、南相馬市が最も多く、次いで葛尾村、楡葉町、川俣町であった。

2.被災市町村等への月別支援状況

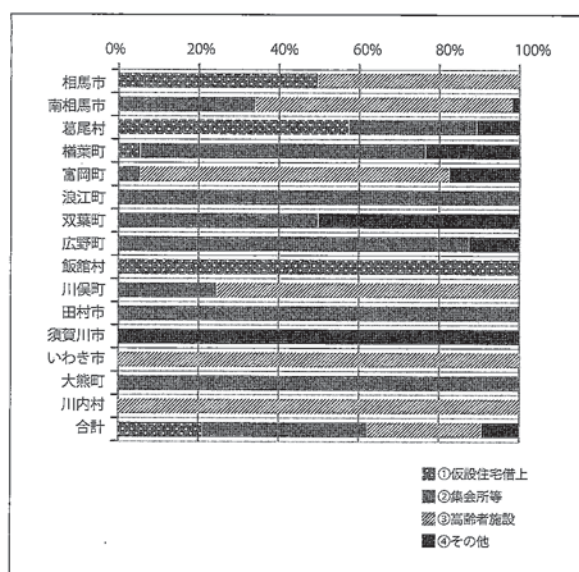
実施月	実施回数	従事歯科衛生士 延べ数	実施人数
5月	13	19	106
6月	15	31	254
7月	26	45	408
8月	24	35	318
9月	16	26	295
10月	29	44	483
11月	33	51	373
12月	29	43	384
1月	10	18	124
2月	14	37	240
3月	8	12	125
合計	217	361	3,110



支援活動は、5月から始まり、7月から12月あたりに実施するところが多かった。従事歯科衛生士数、実施人数は、実施回数に比例して多くなっていた。

3.被災市町村等への支援内容別実施状況（実施回数）

市町村名	①仮設住宅 借上個別訪問	②集会所等	③高齢者施設 障害者施設	④その他	合 計
相馬市	1	0	1	0	2
南相馬市	0	21	39	1	61
葛尾村	38	21	0	7	66
楡葉町	1	12	0	4	17
富岡町	0	1	13	3	17
浪江町	0	10	0	0	10
双葉町	0	3	0	3	6
広野町	0	7	0	1	8
飯舘村	5	0	0	0	5
川俣町	0	2	6	0	8
田村市	0	2	0	0	2
須賀川市	0	0	0	1	1
いわき市	0	0	1	0	1
大熊町	0	12	0	0	12
川内村	0	0	1	0	1
合計	45	91	61	20	217



支援内容別実施状況をみると、個別訪問は、葛尾村が最も多く、次いで飯舘村であった。

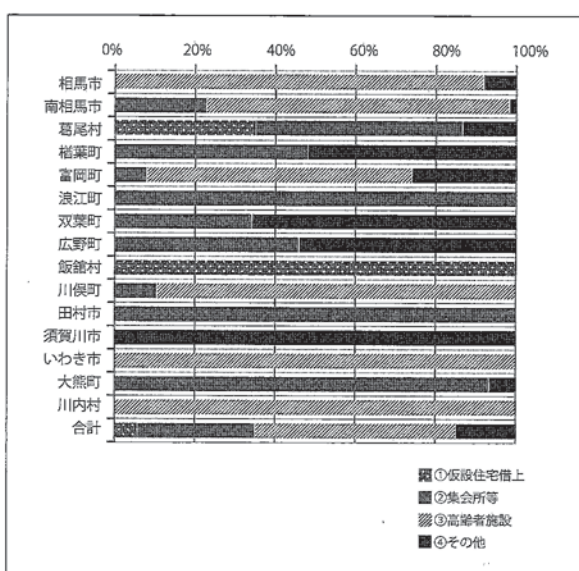
集会所等での支援は、南相馬市、葛尾村、楡

葉町、大熊町の順であった。高齢者・障害者施設での支援は、南相馬市、富岡町、川俣町の順であった。

全体でみると、家庭訪問20.7%、集会所等での支援42.0%、施設等での支援28.1%、その他9.2%で集会所での支援が最も多かった。

4.被災市町村等への支援内容別実施状況（実施人数）

市町村名	①仮設住宅 借上個別訪問	②集会所等	③高齢者施設 障害者施設	④その他	合 計
相馬市	0	0	11	1	12
南相馬市	0	290	1,052	15	1,357
葛尾村	130	188	0	51	369
楡葉町	1	153	0	162	316
富岡町	0	19	161	63	243
浪江町	0	106	0	0	106
双葉町	0	50	0	95	145
広野町	0	37	0	45	82
飯舘村	16	0	0	0	16
川俣町	0	29	279	0	308
田村市	0	25	0	0	25
須賀川市	0	0	0	28	28
いわき市	0	0	32	0	32
大熊町	0	61	0	5	66
川内村	0	0	5	0	5
合計	147	958	1,540	465	3,110



個別訪問の実施人数は、葛尾村が最も多く、次いで飯舘村であった。

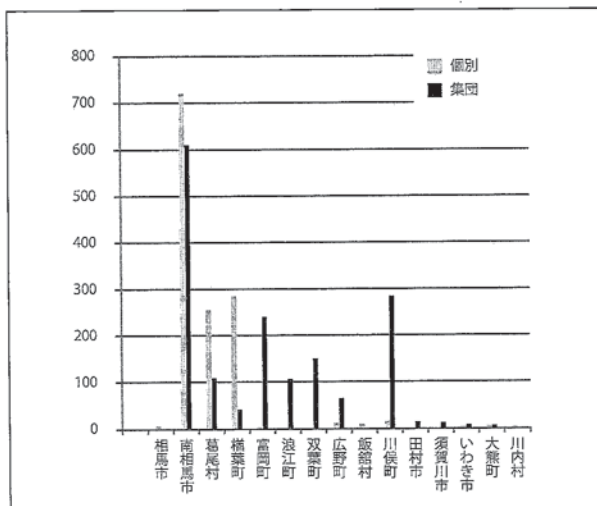
集会所での支援は、特に南相馬市が多く、次いで

葛尾村、楡葉町であった。高齢者施設・障害者施設での支援は、南相馬市が最も多く、次いで、川俣町、富岡町であった。

全体でみると、個別訪問4.7%、集会所等での支援30.8%、施設等での支援49.5%その他15.0%で施設等での支援が最も多かった。

5. 支援方法別実施状況（実施人数）

市町村名	個別	集団	合計
相馬市	12	0	12
南相馬市	735	622	1,357
葛尾村	250	119	369
楡葉町	277	39	316
富岡町	5	238	243
浪江町	0	106	106
双葉町	0	145	145
広野町	20	62	82
飯舘村	16	0	16
川俣町	29	279	308
田村市	0	25	25
須賀川市	0	28	28
いわき市	16	16	32
大熊町	4	62	66
川内村	5	0	5
合計	1,369	1,741	3,110

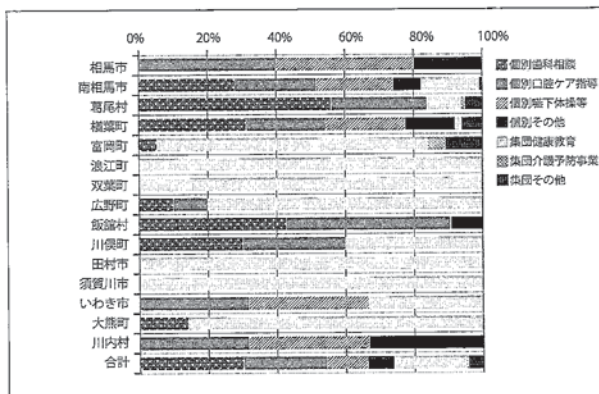


全体の44.0%は個別での支援、56.0%は集団への支援であった。
 個別支援は、南相馬市が最も多く、次いで楡葉町、葛尾村であった。
 集団支援は、南相馬市、川俣町、富岡町の順で、高齢者施設での支援が多かった。

6. 支援活動の内容別実施状況

市町村名	個 別				集 団			合計
	歯科相談	口腔ケア指導	嚥下体操等	その他	健康教育	介護予防事業	その他	
相馬市	0	2	2	1	0	0	0	5
南相馬市	52	46	40	16	34	0	1	189
葛尾村	51	23	0	0	11	1	3	89
楡葉町	14	11	11	7	1	0	2	46
富岡町	1	0	0	0	14	1	2	18
浪江町	0	0	0	0	10	0	0	10
双葉町	0	0	0	0	6	0	0	6
広野町	1	1	0	0	8	0	0	10
飯舘村	5	5	0	1	0	0	0	11
川俣町	6	6	0	0	8	0	0	20
田村市	0	0	0	0	2	0	0	2
須賀川市	0	0	0	0	2	0	0	2
いわき市	0	1	1	0	1	0	0	3
大熊町	2	0	0	0	12	0	0	14
川内町	0	1	1	1	0	0	0	3
合計	132	96	55	26	109	2	8	428

※ 1回の実施において、複数の支援内容を計上しています



支援活動の内容別実施状況をみると、個別歯科相談が全体の30.8%と最も多く、次いで集団健康教育25.5%、個別口腔ケア指導22.4%、嚥下体操・摂食嚥下指導12.8%、介護予防事業への協力0.5%その他1.9%であった。

その他は、住民健診、保育所・幼稚園での支援、メタボ教室、在宅療養者、難病患者等への支援などであった。

被災者口腔ケア支援事業の今後の課題

震災後5年が経過した今、原発事故の処理が進まないために仮設住宅で避難生活を送らなくてはならない、自分の故郷で生きられない、将来構想が描けない、自分で決められないといった、住民の主体性を削ぐ環境が被災者の心身の健康に大きく影響していると思われる。

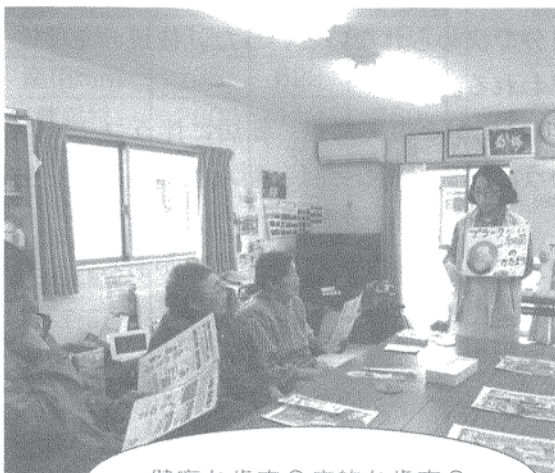
また、居住地を決めた家族、未だ決まらない家族等住民間に広がる復興格差、転居に伴うコミュニティの変容・人間関係に対する不安、原発被災者であるという心的負担感などは、新たな健康問題を生じさせる可能性があると考えられる。

これらのことから、効果的な支援活動を行うために、次の点について検討していく必要がある。

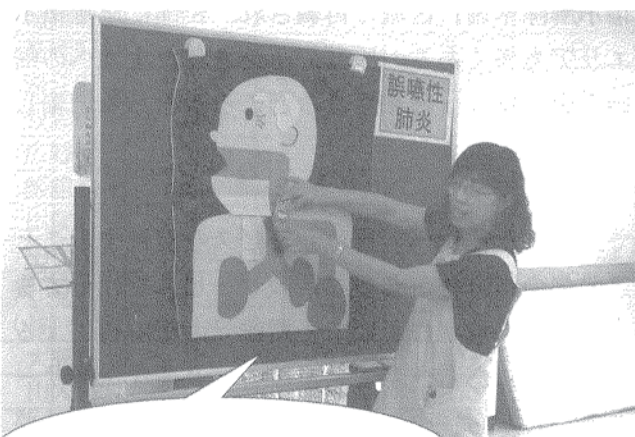
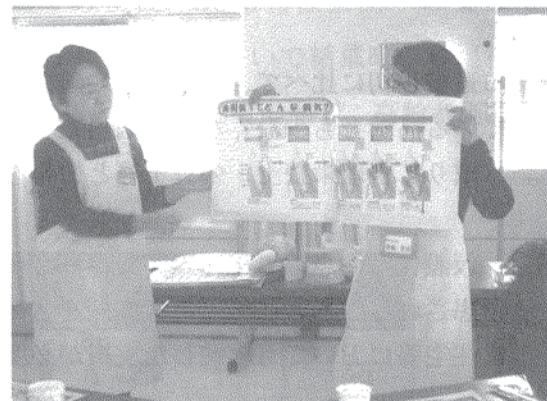
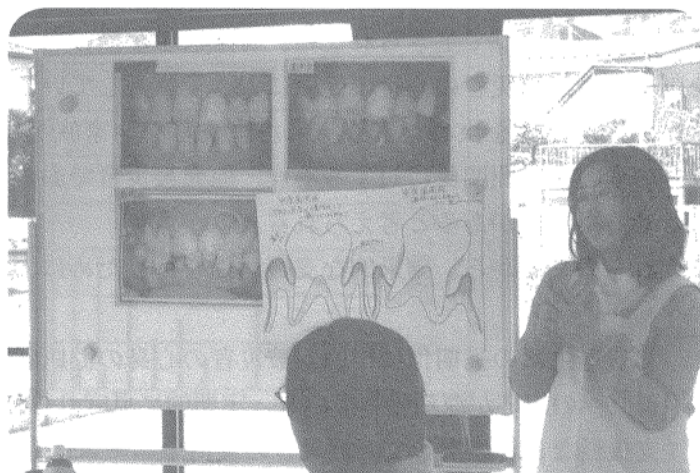
- 1 避難生活の長期化に伴い、被災者の心身の健康状態の悪化や、コミュニティの弱体化、被災者の孤立への対応が深刻化している。定期的に見守り等の個別訪問を実施している生活支援相談員、復興支援員などと連携して、被災者の実情やニーズに合った適切な支援を行っていく必要がある。特に、健康相談会やサロンに参加しない被災者に対する健康支援の方法等について検討する必要がある。
- 2 避難当初に比べて、嚥下困難や義歯の不具合などから、食事摂取量が低下し栄養状態が悪くなっている高齢者も少なくない。歯科衛生士による健康支援だけでなく、体重の変動、嗜好の変化を聞き取り、管理栄養士・栄養士等と情報を共有しながら、同行訪問などを積極的に行う必要がある。
- 3 仮設住宅の高齢者等については、今後仮設住宅から災害公営住宅等への移住が本格化することが予想される中、移住後も健康支援を含めた見守りや孤立防止などの支援がとぎれないよう、災害公営住宅等においても継続した支援が必要である。
- 4 避難指示区域が「帰還困難」「居住制限」「避難指示解除準備」区域に再編され、一部に避難指示解除が出たものの、未だ帰還の見通しが立たないエリアも多くある。原発で汚染された土地への帰還は困難を極め、避難者の不安と故郷を失ったという喪失感は、緩和されるどころかむしろ増幅しているように思われる。
- 5 広域避難した住民に対し、避難元の市町村だけで避難した住民への行政サービスを提供することは困難な状況にある。原発避難者特例法により、避難先の市町村が必要な行政サービスを代行することになっているが、多くの避難者が住民票を移していない現状において、避難元の市町村による住民サービスはそのまま避難元市町村が実施している状況にある。全ての避難者へ必要な保健サービスを避難元市町村が提供するの是非常に困難であることから、引き続き支援活動を継続する重要性を認識している。
- 6 被災者支援活動に従事する歯科衛生士が、被災者の健康問題やニーズに適切に対応できるように研修等を実施していく必要がある。また、支援する側の悩みや各地域における現場での工夫などを共有できるように、情報交換や活動報告の機会を設け、支援者側の負担感を軽減し、より良い支援活動につなげていくことが必要である。

福島県歯科衛生士会が福島県から事業委託を受け、本事業に取り組んで4年が過ぎた。被災市町村のニーズや被災者の状況が変化していく中、私たち支援者は中長期的な視点を持ち、もう一度市町村や被災者のニーズに寄り添う支援のあり方・方向性を検討していく必要がある。

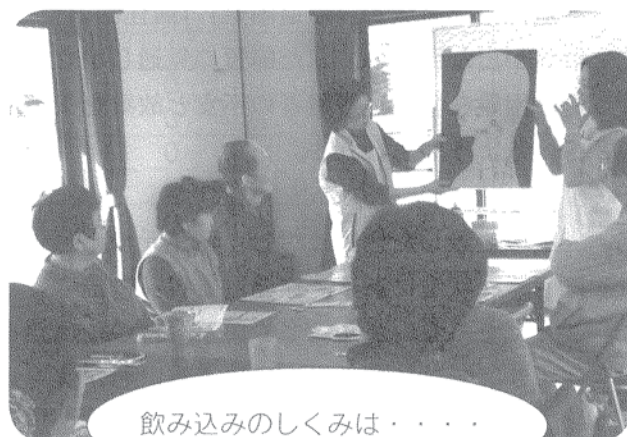
仮設・借上げ住宅での支援



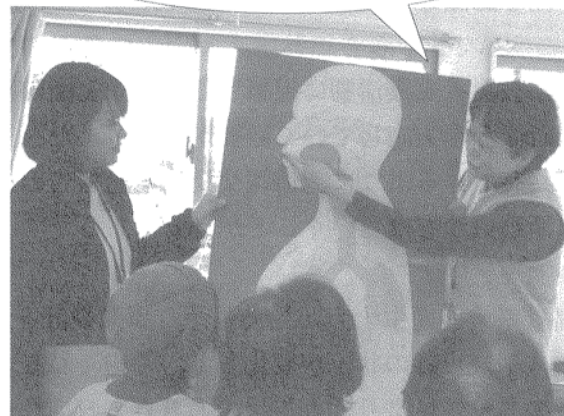
健康な歯肉？病的な歯肉？



誤嚥性肺炎とは・・・



飲み込みのしくみは・・・

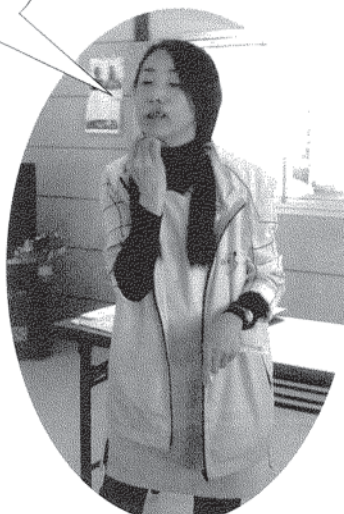




義歯の手入れは
ていねいに行いましょう。



歯ブラシでお口の周りの
筋トレをしましょう！！



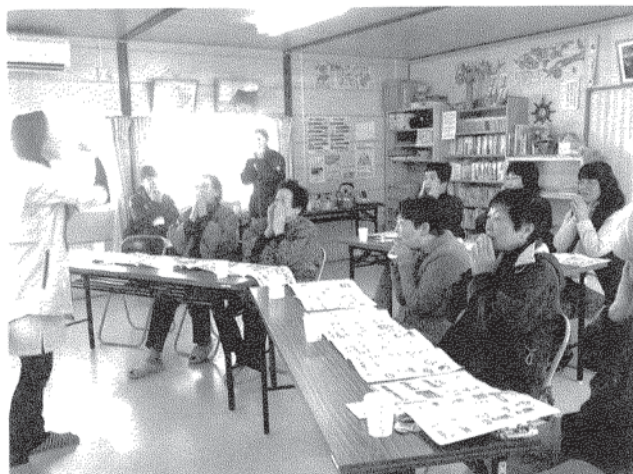
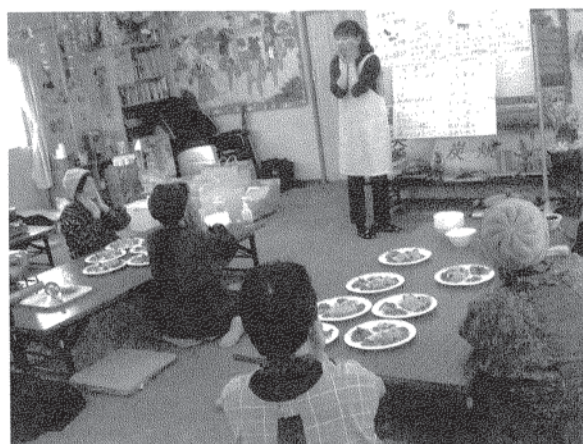
入れ歯の手入れは・・・



舌を観察してみよう。

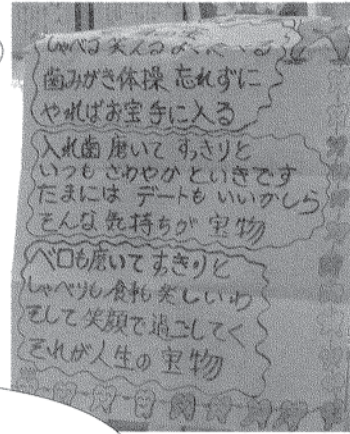


唾液腺マッサージをしましょう。





魚釣りでお口の周りの筋肉を鍛えましょう！！



お座敷小唄の替え歌です♪
一緒に歌いましょう♪



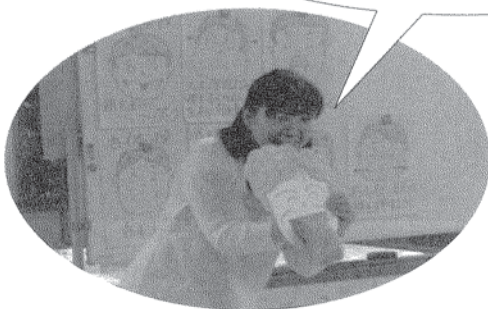
魚が釣れた！



タコが釣れた！



舌を出しましょう！



かむ効果は？



[浪江町復興住宅集会所]



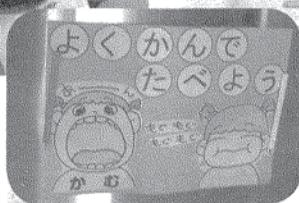
[浪江町復興住宅(桑折町)]

仮設・子ども園等での支援





げんキッズ教室で…
大きい歯！！



子ども園で歯みがき支援
(^o^)(^o^)(^o^)



[被災者支援事業打合せ会]

高齢者施設での支援

大きな歯で
わかりやすいでしょ！



うまく魚が釣れた



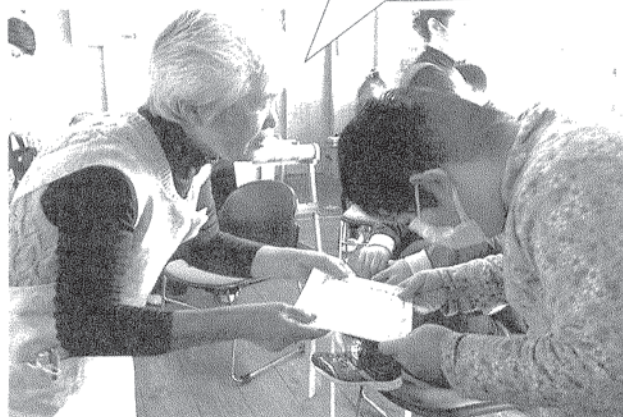
50点命中！！



ストローを使っ
ての福笑いは難
しい...



障害者施設での支援



歯みがきを行ったら、
シールを貼りましょう!!

